

ログパターン分析

多種多様なログからビジネスに役立つ価値を創出！
～人手では困難な大規模かつ複雑なログ分析をAIで改革～

「いつ」「誰が(どこで)」「何をした(何が起きた)」を記録するログ。IoTの普及に伴い大量に蓄積された多様な“モノのログ”は、従来の故障解析だけでなく新たな価値創出への利用が期待されます。ログ活用による業務生産性向上やビジネス拡大を支援します。

主な活用効果

活用
シーン
①

システムトラブルがビジネスに直結する ICTシステムの障害対処を迅速化

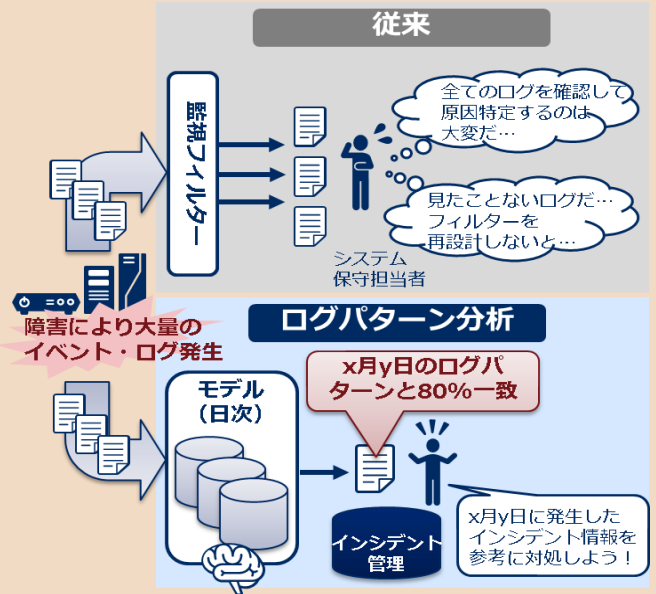
通信業、金融業など

■導入前

- ・ログ監視のためのルール設計やメンテナンスには、ノウハウと工数が必要
- ・障害解析には、有識者が総出で、すべてのログ情報を確認、検討、対処

■導入後

- ・日々のログ情報をAIでモデル化
→監視フィルターのルール設計やメンテナンスが不要
- ・トラブル対応の属人化からの脱却
- ・類似障害をAIがレコメンド
→障害検知から対処方法特定までの時間を最大80%短縮※
※PoCの一例



活用
シーン
②

機器・装置の故障が大変な損害につながる 装置の異常原因分析作業の効率化

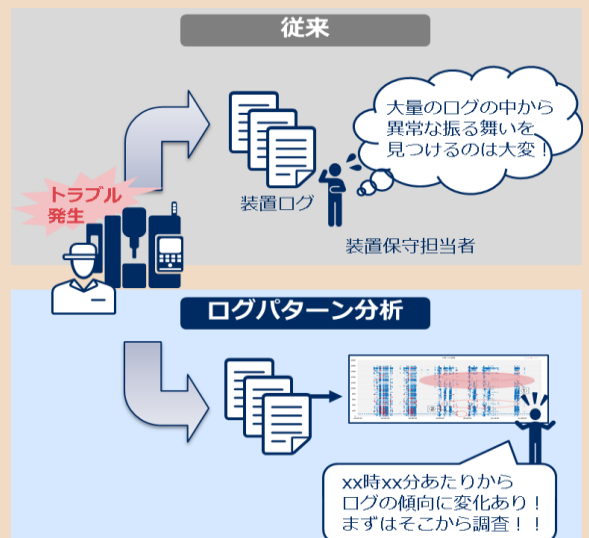
機器・装置の保守ベンダ

■導入前

- ・装置停止により事業インパクト拡大
- ・故障対応にコストがかかる

■導入後

- ・膨大なログを自動的に分類、グルーピングし、視覚化可能
→異常発生箇所の特定を支援
- ・異常時にしか出力されないログパターンを自動抽出
→優先して確認すべきログを提示し、保守作業を効率化



多種多様な「ログ」の分析をAIで効率化！

「NEC Advanced Analytics - ログパターン分析」の特徴

ログに記録されたICT・人・モノの動きから
業務ノウハウや経験値をモデル化

- **ログの構造を意識せず、多様なログパターンを抽出**

従来、監視や分析前に必要だった、プログラミング等でのフォーマット定義が不要

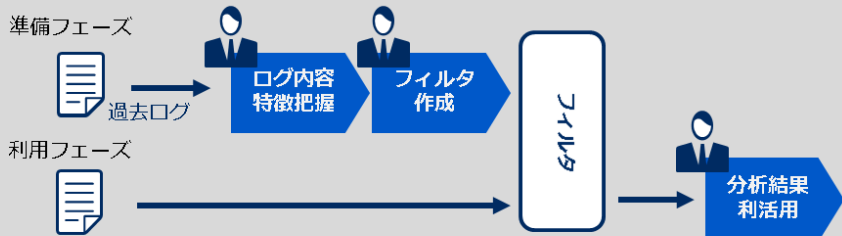
- **人間がログを確認する際の動きを機械化**

抽出したログパターン、変数の種類・値の範囲を学習しモデル化

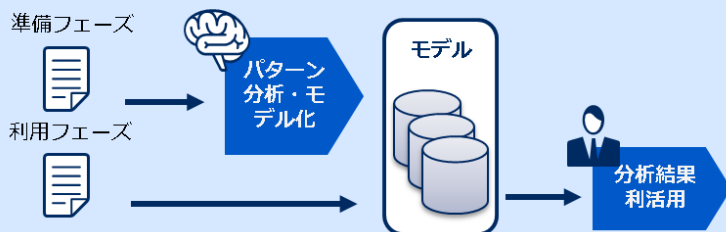
モデルとのマッチ・アンマッチを自動判定することで、分析作業の効率化を支援

従来のログ管理製品

- 分析用テンプレート、フィルタの準備が必要
- テンプレート、フィルタの作成には、ノウハウが必要

**ログパターン分析**

- ログパターンを学習しモデル化
- 生成したモデルをテンプレート、フィルタとして分析に利用

**課題解決に貢献するソリューションの提供価値****お困りごと****活用シーン①**

システムトラブルがビジネスに直結するので、障害発生時の対応を迅速にしたい

- 膨大なログをすべて確認しなくても良いので障害発生時の対処判断を迅速化
- 有識者を全員招集する必要がないため、トラブル対応の「属人化」からの脱却を実現

活用シーン②

エンドユーザから「機器・装置異常時の対処を早くしてほしい」「故障により生産性が低下するのは困る」といわれたる

- 大規模ログの出力傾向の変化から故障箇所を早期に特定
- サポート品質の向上
- メンテナンスコストの低減

お問い合わせは、下記へ

NEC ログパターン分析相談窓口

E-mail: sales@lpan.jp.nec.com

URL: <http://jpn.nec.com/logpatternanalytics/>

●本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。

本リーフレットに記載の内容は2024年7月現在のものです。